

消防の お知らせ



昭 島 消 防 署
昭 島 市 消 防 団 会
昭 島 防 火 防 災 協 会
昭 島 防 火 管 理 研 究 会
昭 島 危 険 物 安 全 会

No. 202 平成30.8

防災週間

8月30日～9月5日

「9月1日は防災の日」

平成30年度 東京消防庁防災標語

防災は 日頃の備えの 積み重ね

作者

柏木こころさん
(三鷹市在学)



自主防災組織で地域の防災力を高めましょう

大規模な災害が発生したとき、地域の人々が助け合う「共助」が必要です。「自分たちの街は自分たちで守る」という心構えで**自主防災組織**に積極的に参加しましょう。

平常時の活動

★ 防災知識の普及・啓発

正しい防災知識の普及を図るため、消防署が実施する防災講演会等への参加や地域の防災マップなどを作製しましょう。

★ まちの防災環境点検

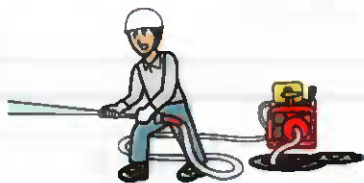
災害発生時に被害の発生が予想される危険箇所や援助を必要とする要配慮者の確認をしましょう。

★ 防災資器材の整備・点検

初期消火、救出・救助、避難誘導などに使用する資器材を整備し定期的に点検しましょう。

★ 防災訓練の実施

初期消火訓練、救出・救助訓練など災害を具体的に想定した防災訓練を実施しましょう。



災害時の活動

★ 避難誘導・情報伝達

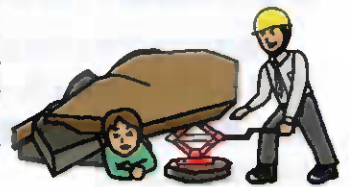
住民の避難場所への誘導や消防署などの防災機関からの情報を伝達するとともに地域の被害状況を防災機関に伝えましょう。

★ 初期消火

火災が発生したらスタンドパイプや可搬式ポンプを使って火災の延焼拡大を防ぎましょう。

★ 救出・救助・搬送

建物の下敷きになった人を、救出するとともに負傷者に応急手当を実施し救護所に搬送しましょう。



★ 避難所の開設・運営

避難住民の安否確認や食料、応急物資の分配、防災機関や行政機関との連絡調整にあたりましょう。

回 覧 (裏面もごらんください)



台風や集中豪雨から身を守る!!

台風や集中豪雨などの風水害は、ある程度事前に発生を予測することができます。雨や風が強くなったら気象庁が発表する**防災気象情報**や市区町村が発令する**避難に関する情報**をテレビ・ラジオやインターネット、防災行政無線などで入手し早めの避難行動で被害を防ぎましょう。



※毎年、河川や水路への転落事故が多く発生しており、大雨の時には、こうした場所に近づくのは絶対にやめましょう。

市区町村が発令する避難に関する情報

1

避難準備・高齢者等避難開始

- 避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される状況です。
- 避難に時間を要する人(障がいのある方・高齢者・乳幼児等)やその支援者は避難を始めましょう。
- 通常の避難行動ができる人は、非常持ち出し品など避難準備を始めましょう。

2

避難勧告

- 災害による被害が予想され、人的被害が発生する危険が高まった状況です。
- 速やかに避難場所に避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

3

避難指示(緊急)

- 災害が発生するなど状況が悪化し、人的被害が発生する危険が非常に高まった状況です。
- まだ避難していない人は、緊急に避難場所に避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

風水害時の避難時のポイント

● 事前に確認

普段から、避難場所まで徒歩で行ける安全な経路を確認しておきましょう。



● 隣近所を誘って

避難は2人以上で、隣近所に声をかけあって集団で避難しましょう。特に高齢者等には配慮しましょう。



● 安全な服装で、持ち物は最小限に

荷物はリュックサックなどで背負い、両手を使えるようにしましょう。ヘルメットで頭を保護し靴は運動靴など避難行動に耐えられるものにしましょう。



● マンホールや側溝に注意

水圧でマンホールの蓋が開いてしまうこともあります。マンホールや側溝への転落に注意しましょう。



詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページへはこちらからアクセスできます

問合せ先

東京消防庁 昭島消防署 警防課

防災安全係 地域防災担当

電話 042-545-0119